02 小郡都市核

ア 新山口駅周辺の駐車場対策

新山口まちおこし委員会

現状・課題

市

●市では、小郡都市核へのオフィス機能集積を図るため、新たにオフィス等を開設される企業に対する雇用補助金や、事務所賃貸料の支援補助金といった支援制度により、平成 27 年以降、11 社のオフィスを誘致している。こうした中、新山口駅周辺は、平面駐車場が多く、こうしたオフィス用の駐車場が不足しているとの声が上がっている。
（令和 6 年 2 月、山口商工会議所から市に対して、新山口駅周辺での大規模大会やイベントの際に駐車場が不足することから、来場者向け駐車場（立体駐車場）の整備促進について要望済）

●市では、山口市駐車場整備計画（平成 13 年策定・令和 5 年改定）において、山口都市核内の約 265ha を駐車場整備地区に指定し、まちのにぎわいや魅力の創出を下支えする駐車場施策を目指すとしているが、小郡都市核については、駐車場整備計画が策定されていない。

●市では、新山口駅周辺の駐車場対策として、令和 6 年度は新山口駅周辺の事業者に対する駐車場ニーズの聞き取り調査を実施。令和 7 年度は駐車場の規模、利用形態、利用率や過不足状況の把握といった実態調査を実施し、調査結果を踏まえて、令和 8 年度に駐車場整備計画の策定を進める予定。

会議所

●観光やビジネス等の利用増に伴い、金曜日から日曜日にかけて混雑状況が見られる。
また、KDDI 維新ホールで集客力の高いイベントが開催されるときに、駐車場が不足する。

●新山口まちおこし委員会において調査した結果、新山口駅周辺の時間貸し駐車場が、北口に 570 台（公設 491・民設 79）、南口に 1,528 台（公設 56・民設 1,472）であった。
（資料編 50 頁、51 頁）

改善等意見

●新山口駅周辺は、週末やKDDI維新ホールでのイベント等開催時に駐車場が不足する状況にある。対応策として、新山口駅南口のバス駐車場の機能を維持しつつ、公設または民設による立体駐車場を整備することができないか。また、北口においても現在の平面駐車場を立体駐車場にすることで駐車場不足が解消できるのではないか。

●駅北口の月極駐車場の不足は特に深刻で、出店希望者が駐車場を確保できないことから、空き店舗出店への障壁になっている。空き地はほとんどなく、既存駐車場の立体化しか改善方法はないと思われるが、建設費の高騰が大きな課題である。民間による駐車場整備を進めるためには、行政による補助金等の支援が必要ではないか。

●新山口駅周辺は小規模な駐車場が分散しており、利用可能な駐車場の場所が分かりづらい。
また、満車時には近隣で駐車できる場所を探し回るケースもある。駐車場の空き状況を把握できるアプリ等 IT ツールを活用することで改善できないか。

●新山口駅周辺でも駐車場予約サイトやアプリを活用した「駐車場シェアリングサービス」を行ってはどうか。

●駅周辺の駐車場等（例えば、周防下郷駅、四辻駅、嘉川駅）を「パーク＆ライド」として活用できるよう確保・整備することで、駐車場不足の解消に繋がるのではないか。

●イベント時などの臨時的な駐車場として、小郡ふれあいセンターや小郡総合支所の駐車場の活用を検討してはどうか。

● KDDI 維新ホール第２・第３駐車場を立体駐車場として整備できないか。

提言・要望

●新山口駅周辺の駐車場対策については、令和８年度に「駐車場整備計画」を策定することとされています。計画策定にあたっては、需要と供給、将来の見通しを踏まえた方向性が示されるものと認識しており、今後、協議の場における関係機関等との意見交換･調整などをしっかり行っていただくようお願いします。

●特に、駐車場に関する情報発信やスマートパーキングの導入、駐車場整備に対する財政支援、週末や KDDI 維新ホール等におけるイベント時の駐車場への対応など、先行して対応・実施できる事項についての検討・事業化について、早急に取り組んでいただくようお願いします。

会議所の役割

アプリを活用した対応策など、関係機関と連携した支援等について協議していく。

新山口駅パーキング（新山口駅南口）

小郡南パーキング（新山口駅南口）

新山口まちおこし委員会　会議の様子

02 小郡都市核

イ KDDI 維新ホールの利用促進（MICE 誘致の推進）

新山口まちおこし委員会

現状・課題

市

●事業費約 110 億円。令和 3 年 4 月供用開始。
新山口駅に直結し、主要施設のメインホールは最大 2,000 人収容可能、ニーズに柔軟に対応できる可変型であり、利便性に優れた施設である。その他、セミナーや講演会、コンベンションにも適した大小 12 の会議室や、ダンスをはじめ、小規模な発表会や作品展にも利用できるメインスタジオなどを備えており、自由通路やデッキもイベント等での利用が可能となっている。

●市では、宿泊を伴う MICE への開催助成金（最大 100 万円）や、MICE 会場から湯田温泉へのシャトルバス運行支援（最大 50 万円）といった各種支援策により、MICE 誘致促進を図っている。

●メインホール（R3.7 稼働）の年間来場者数は、当初目標 12 万人に対して、令和 3 年度 6 万 8977 人、令和 4 年度 9 万 1138 人、令和 5 年度 11 万 679 人と推移している。また、年間稼働率については、当初目標 50% に対して、令和 3 年度 54%、令和 4 年度 62%、令和 5 年度 70% と目標を大幅に上回る利用状況が続いている。

●会議室（R3.4 稼働）の年間来場者数は、令和 3 年度 3 万 8573 人、令和 4 年度 6 万 2213 人、令和 5 年度 8 万 979 人と推移している。また、年間稼働率は、令和 3 年度 50%、令和 4 年度 76%、令和 5 年度 83% と高い水準にある。

会議所

● KDDI 維新ホールの利用促進のためには、来場者向け駐車場（立体駐車場）の整備促進が必要である。

● KDDI 維新ホールでのイベントや参加者の募集など、情報発信を強化していく必要がある。

改善等意見

● KDDI 維新ホール近隣に駐車場が整備されると、利用促進につながるのではないか。

● KDDI 維新ホールで大規模大会、イベントを受け入れるには、宿泊室数、昼の飲食店数が不足している。また、規模等により湯田温泉との連携が必要な場合、来街者の移動（バス輸送）をスムーズに行う必要がある。

● KDDI 維新ホールでのイベントや運営参加募集などの情報発信として、新山口駅北口の再開発ビル建物に大型デジタルサイネージを設置し、動画などで情報を発信してはどうか。

提言・要望

● KDDI 維新ホールは、関係者の御努力により、順調に来場者数、稼働率が伸びています。
今後とも、KDDI 維新ホールから湯田温泉へのバス運行支援、MICE 誘致の推進、市内外への情報発信の強化など、関係機関との連携のもと、KDDI 維新ホールの利用促進及び産業交流拠点の機能強化への支援に取り組んでいただくようお願いします。

●行政、山口観光コンベンション協会等と連携し、KDDI 維新ホールの利用促進を行っていく。

会議所の役割

● KDDI 維新ホールは、山口市産業交流拠点施設でもあり、当所広域ビジネスサポートセンターが入居している。国・県・市・商工会議所の支援機関の集積・連携強化により、KDDI 維新ホールの機能強化を図っていく。

イベントの様子

イベントの様子（ホール内自由通路）

KDDI 維新ホール 第 1 駐車場（新山口駅北口）

02 小郡都市核

ウ 新山口駅を活用したにぎわい創出

新山口まちおこし委員会

現状・課題

市

●行政主体のイベントとして、こども達の未来を生き抜く力を育むことを目的とした職業体験イベント「アウトオブキッザニア in やまぐち」会場としての利用（令和３・４年度）や、農林水産物や加工品等の販売促進を目的とするイベント「あぐまるやまぐち」の南北自由通路での開催（令和５年度等）、山口県央連携都市圏域内のクラフトビールの認知度向上と販路の拡大を目的にとしたイベント「KANPAI ナナシマチクラフトビアガーデン」の北口駅前広場での開催（令和６年度）など、新山口駅を活用した新たなにぎわい創出が図られてきた。

●民間主体のにぎわい創出として、「小郡がつながる・つなげる」をコンセプトに、新山口駅やその周辺を地域資源として活用し、小郡地域の大学や専門学校などの学生と、企業や地域団体等が連携して行う集客イベント、ワークショップ等が開催されているほか、吉南青年会議所による新山口駅前のイルミネーションが行われており、市は開催に対する支援を行っている。

●令和８年におけるデスティネーションキャンペーン（DC）の山口県開催が決定。
前回の DC（平成 29 年開催）では、新山口駅でオープニングセレモニーや SL やまぐち号の出発式、南北自由通路での駅マルシェなどのオープニングイベントが開催された。令和８年 DC についても、オープニングイベントや式典の新山口駅周辺での開催について市から県に対して要望している。

会議所

●令和６年５月に新山口まちおこし委員会が主催で「新山口の可能性を探る、若者が考えるまちづくり」講演会・パネルディスカッションを実施した。小郡地域の中学校・高等学校・専門学校・大学の若者と吉南青年会議所の若手経済人が参画し、新山口のまちづくりについて、活発な意見交換等を行った。（68 人参加）

●新山口駅周辺における飲食機能や滞留機能等の集積により、新たな交流やにぎわいの創出を図るため、「新山口駅周辺における出店補助制度」、「新山口駅周辺活性化対策資金」が創設され、令和７年度から事業開始された。
（R6 年２月、山口商工会議所から市に対して、JR 新山口駅近郊における飲食店を中心とした、小売・サービス業等への出店補助制度の創設について要望済み）

●新山口駅南口（新幹線口）の１階は、活用されていない空間が一部ある。

改善等意見

●地域住民や来街者を対象に、新山口駅周辺で「酒まつり」「駅弁フェア」「キッチンカー出店」など、集客できるイベントを開催すると良いのではないか。

●新山口駅で開催されるイベントの評判を高めて、県外イベンターが新山口駅周辺でイベントを企画・開催するよう呼びかけができないか。（月１回もしくは四半期毎、場所は南北自由通路など）

●防府駅・徳山駅・博多駅・広島駅のように、駅に隣接する商業施設を含め、にぎわいにつながる整備が必要ではないか。

提言・要望

●新山口駅を活用したにぎわい創出については、行政、各民間団体の活動により、年間を通じてイベント等の取り組みが、KDDI 維新ホール開館以来、着実に進んでいると認識しています。
今後とも、各民間団体の活動・取組みに対する支援の継続、JR や関係機関との調整など、にぎわい創出に向けて、公民連携のもと推進していただくようお願いします。

●新山口駅及び周辺における飲食･小売店舗等の商業機能の集積は、イベント等の取り組みに加え、にぎわい創出につながっていくものと考えています。そして、令和７年度から出店補助や制度融資の支援事業が開始されています。引き続き、同地域の交通結節機能、オフィス機能、産業交流機能の強化に併せ、商業機能の集積についての検討をお願いします。

会議所の役割

●学生、若者、企業、地域団体等と連携し、新山口駅や周辺の地域資源を活用したイベント等に協力・支援を行っていく。また､商工会･商工会議所連携による出店やワークショップの実施に取り組む。

●若者が考えるまちづくり、パネルディスカッションを契機に､若者の新山口（駅活用）のまちづくりへの意識醸成を図っていく。

● JR 西日本が新山口駅南口において、「駅を楽しむ」をテーマとしたイベント「しんやまエキスポ」を令和７年３月から定期開催（第２・第４日曜日）されている。JR 西日本との連携について協議し、駅のにぎわい創出を図っていく。

「新山口の可能性を探る、若者が考えるまちづくり」
パネルディスカッションの様子

しんやまエキスポ「ハダシランド」の様子（南口 1 階）

しんやまエキスポ「おさんぽまーけっと」の様子（南口駅前広場）

02 小郡都市核

エ 新山口駅北地区第一種市街地再開発事業完了後の市街地の再生

新山口まちおこし委員会

現状・課題

市

●令和３年２月、新山口駅北地区市街地再開発組合が設立され、令和５年７月に建築工事に着手。4,000㎡の敷地に、ホテル棟、オフィス棟、賃貸住宅棟、住宅棟の４棟を建設中であり、令和７年８月完成予定。この市街地再開発を通じ、防災性の高い安全で快適な都市空間が生まれることで、駅北地区の魅力向上や資産価値の上昇につながり、さらなる民間投資が期待される。

●全体事業費は約65億円であり、そのうち公費支援が22.9億円（国補助約13.8億円、市補助約9.1億円）である。

改善等意見

●賃貸住宅やテナント等のデザインに特徴があり、シンボル的な存在である「新山口駅北地区市街地再開発ビル」による波及効果、人の流れ、駐車場などを把握していくことが必要である。

●交流人口増加につながる情報発信の取り組みとして、再開発ビル建物に大型デジタルサイネージを設置して、観光スポットやイベント等の情報を流してはどうか。

提言・要望

●民間主導の新山口駅北地区第一種市街地再開発事業は、関係者の御努力により、令和７年８月に完成を迎え、駅北地区の市街地の形成に弾みが付いていくものと認識しています。
この開発を契機とした民間主導による東側エリアの開発促進のあり方など、市街地の再生に向けた検討をお願いします。

会議所の役割

事業完了後の周辺への波及効果を把握しつつ、次なる市街地の再生について行政と連携し、新山口まちおこし委員会で検討していく。

「新山口駅北地区市街地再開発ビル」完成イメージ

新山口駅北地区　明治通り、大正通り